

① 機種

No.	機種	床面積	間口	奥行	積雪強度
1	FD-0808WL	N × 0.67m ² (0.20坪)	N × 820mm	820mm	・一般型: 1200N/m ² ・多雪型: 3100N/m ² ・豪雪型: 4500N/m ² ※安全のため、 一般型は60cm以上、 多雪型は100cm以上、 豪雪型は150cm以上 積もらないように雪下 ろしをしてください。

② 主要部材仕様

品番	主 要 部 材	材質	材質記号(JIS番号)	呼び厚さ(mm)
①	土 台 取 付 板	溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板	SGMH400 K27(JIS G 3323)	2.3
②	土 台	溶融亜鉛めっき鋼板	SGC400 F12(JIS G 3302)	1.2
③	柱	〃	〃	1.2
④	床 パ ネ ル	〃	SGCC F12(JIS G 3302)	1.0
⑤	鴨 居	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板	SZAC400 Y10(JIS G 3317)	1.0
⑥	ま ぐ さ	溶融亜鉛めっき鋼板	SGC400 F12(JIS G 3302)	1.0
⑦	桁 後	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板	SZAC400 Y10(JIS G 3317)	1.0
⑧	妻 板 左 右	〃	〃	0.7
⑨	梁 中 ・ 梁 中 央	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 または溶融亜鉛めっき鋼板	SZAC400 Y10(JIS G 3317) またはSGC400 F12(JIS G 3302)	1.0
		溶融亜鉛めっき鋼板	SGC400 F12(JIS G 3302)	0.7
⑩	鼻 隠 し 前 後	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板	SZACC Y10(JIS G 3317)	0.7
⑪	中 土 台 受 板	溶融亜鉛めっき鋼板	SGHC F12(JIS G 3302)	2.3
⑫	中 鴨 居	〃	SGCC F12(JIS G 3302)	1.0
⑬	中 土 台 前 後	〃	〃	1.2
⑭	中 土 台 幕 板	〃	〃	0.7
⑮	屋 根 パ ネ ル	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 または溶融亜鉛めっき鋼板	SZAC400 Y10(JIS G 3317) またはSGC400 F12(JIS G 3302)	0.5
⑯	壁 パ ネ ル	溶融亜鉛めっき鋼板	SGC400 F12(JIS G 3302)	0.6
⑰	扉	〃	SGCC F12(JIS G 3302)	0.8

※SZAC400(JIS G 3317)の指定建築材料認定番号:MSTL-0287

※SGMH400(JIS G 3323)の指定建築材料認定番号:MSTL-0065、MSTL-0536

③ 主要部材断面

① 土台取付板 t=2.3	② 土台前 t=1.2	土台左右・土台後 t=1.2	土台中・土台中央 t=1.2		
③ 柱前左右 t=1.2	柱後左右 t=1.2	柱前中 t=1.2	柱前中央 t=1.2	柱後中 t=1.2	柱後中央 t=1.2
④ 床パネル t=1.0		⑤ 鴨居 t=1.0	⑥ まぐさ t=1.0	⑦ 柵後 t=1.0	
⑧ 妻板左右 t=0.7	⑨ 梁中・梁中央 t=1.0, 0.7	⑩ 鼻隠し前 t=0.7		鼻隠し後 t=0.7	
⑪ 中土台受板 t=2.3	⑫ 中鴨居 t=1.0	⑬ 中土台前 t=1.2	中土台後 t=1.2	⑭ 中土台幕板 t=0.7	
⑮ 屋根パネル t=0.5		⑯ 壁パネル t=0.6 ⑰ 扉 t=0.8			

④ その他の部品仕様

部 品 名	材 質	表面処理・色
ボ ル ト	冷間圧造用炭素鋼線材 (SWRCH 10R)	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8(三価)+ZECコート またはEp-Fe/Zn[4-C2]
ネ ジ 板	一般構造用圧延鋼材(SS400)	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn8(三価)+ZECコート
棚 フ ッ ク	冷間圧延鋼板	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn [4-C2]
把 手	AES樹脂またはASA樹脂	ミストグレー(N7)
錠	亜鉛合金ダイカスト 12種	ニッケルクロムめっき Ep-Zn/Cu+Ni[10]
鍵	黄銅板 (C2801)	ニッケルめっきEp-Cu/Ni5
換 気 ガ ラ リ	AES樹脂またはASA樹脂	フランネルグレー(N3.3)
ボルトキャップ	AES樹脂またはASA樹脂	ミストグレー(N7)
ヒ ン ジ	ステンレス鋼板(SUS304)	-
ラ ッ チ	PBT樹脂	-
土 台 キャップ A	ポリエチレン樹脂	ミストグレー(N7)
屋 根 パ ッ キ ン	ポリ塩化ビニル樹脂	ミストグレー(N7)
エ ン ブ レ ム	ABS樹脂	クロームめっき
銘 板	AES樹脂またはASA樹脂	ミストグレー(N7)

⑤ 表面処理及び塗装

- (1) 塗装する素地は下処理をするものとし、脱脂、水洗工程を経て化成処理をしております。
(2) 塗装は高耐候粉体ポリエステル樹脂を使用し、静電塗装後熱風乾燥炉にて焼付けます。
(3) 膜厚及び塗装色は下表に示す通りです。

塗装部品	膜厚		塗装色	マンセル番号
	屋外面	屋内面		
土 台	40 μ m以上	40 μ m以上	ミストグレー	N7
中 土 台 前 後	〃	〃		
中 鴨 居	〃	〃		
中 土 台 受 板	〃	〃		
中 幕 板 左 右	〃	〃		
柱	〃	〃		
床 パ ネ ル	〃	〃		
鴨 居	〃	〃		
桁 後	〃	〃		
妻 板 左 右	〃	〃		
梁 中・梁 中 央	〃	〃		
鼻 隠 し 前 後	〃	〃		
屋 根 パ ネ ル	〃	〃		
壁 パ ネ ル	40 μ m以上	〃		
アンカープレート	〃	—	CG : チャコールグレー	—
扉	〃	40 μ m以上		

⑥ 耐久性

◎塗装面

	項 目	試験内容	試験規格
(1)	耐 食 性	5%塩水を噴霧する耐塩水噴霧性試験に500時間耐えること。	JIS K 5600-7-1
(2)	耐 塩 水 性	3%塩水に浸す浸せき法による耐液体性試験に96時間耐えること。	JIS K 5600-6-1
(3)	耐 衝 撃 性	500mmの高さから500gのおもりを落とすデュポン式による耐おもり落下性試験に耐えること。	JIS K 5600-5-3
(4)	鉛 筆 硬 度	硬度Hの鉛筆法による引っかき硬度試験に耐えること。	JIS K 5600-5-4
(5)	付 着 性	1mm間隔のクロスカット法による付着性試験に耐えること。	JIS K 5600-5-6
(6)	耐 候 性	サイクルAのキセノンランプ法による促進耐候性試験に360時間耐えること。	JIS K 5600-7-7

◎開口部の可動

	項 目	試験内容	試験規格
(1)	開閉繰返し耐久性 (引戸、開き戸)	引戸、開き戸は、開閉繰返し試験に耐えること。	JIS A 6603

⑦ 不燃認定番号

塗装鋼板はすべて不燃材料(不燃材料認定番号NM-4113-3およびNM-5380-2)です。